

文部科学省提出資料

科学技術イノベーションを担う女性の活躍促進

平成29年度要求・要望額 : 2,139百万円
 (平成28年度予算額 : 1,987百万円)
 ※運営費交付金中の推計額を含む

現状認識

- 我が国の女性研究者の割合は増加傾向にあるが、主要国と比較すると、いまだ低い水準。研究者が研究活動を継続する上で、研究等とライフイベント(出産・育児・介護等)との両立が困難な状況にあり、その影響もあり、上位職に占める女性の割合も低い状況。
- 次代を担う自然科学系の大学学部・大学院における女子学生の割合も低い状況。

事業概要

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

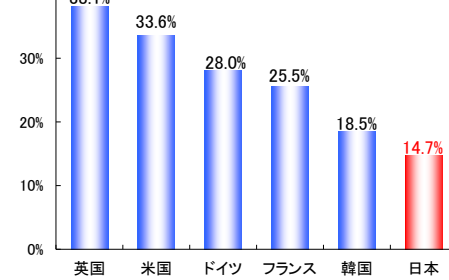
1,088百万円(1,088百万円)

研究と出産・育児・介護等との両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダー育成を一体的に推進するなど、女性研究者の活躍促進を通じた研究環境のダイバーシティ実現に関する目標・計画を掲げ、優れた取組を実施する大学等を選定し、重点支援。

支援対象等

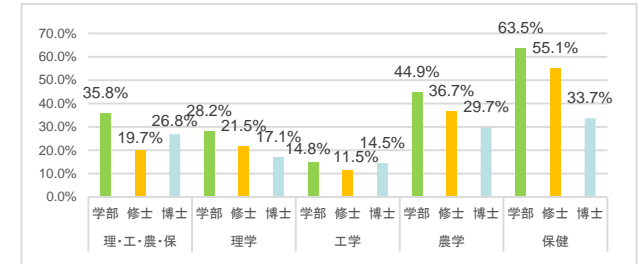
- 対象機関: 大学、国立研究開発法人等
- 支援取組: 単一の機関内での部局横断的な取組(特色型)や、複数の機関が連携し、地域や分野における女性研究者の活躍促進を牽引する取組(牽引型)
- 補助金額: 2千万円程度/年(特色型)、5千万円程度/年(牽引型) <平成29年度新規分>
- 事業期間: 6年間(うち補助期間3年間)

主要先進国における女性研究者の割合



〈出典〉
 総務省「平成27年科学技術研究調査報告」、
 OECD“Main Science and Technology Indicators”、
 NSF“Science and Engineering Indicators 2014”
 を基に文部科学省作成

大学入学者に占める女性割合



平成27年度学校基本調査より文部科学省作成

特別研究員(RPD)



991百万円(869百万円)

優れた研究者が、出産・育児による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰できるよう、研究奨励金を支給し、支援。

(RPD: Restart Postdoctoral Fellowship)

支援対象等

- 対象: 研究中断から復帰する博士課程修了者等
- 支援人数: 200人⇒225人(新規75人)
- 月額: 36.7万円(研究奨励金)
- 採用期間: 3年間

女子中高生の理系進路選択支援プログラム



60百万円(30百万円)

女子中高生の理系分野への興味・関心を高め、適切な理系進路の選択を可能にするため、シンポジウムや実験教室等の取組に加え、地域や企業等と連携した取組などを実施する大学等を支援する。

支援対象等

- 対象機関: 大学・研究機関・民間企業・教育委員会等による構成組織の代表機関
- 支援取組: 適切な理系進路選択について女子中高生に効果的にアプローチするために、学校・家庭・地域が連携した地域ぐるみの取組を支援
- 支援金額: 300万円/年・件(新規10件程度)
- 実施期間: 2年間

期待される効果

- 様々な視点を持った多様な研究者等が共に研究活動を行う環境が構築され、イノベーションが生み出されることを期待
- 女性が理工系への進路を選択し、その能力を活かし、社会の様々な場において活躍することを期待